

ディベート

- ・命題の是非を肯定側・否定側に分かれて討論する。
- ・勝敗を審査員(ジャッジ)が判定する(説得する相手は審査員)
- ・Speech、Discussion との違い



肯定側第一立論(4分)

質疑応答(2分)

準備時間(2分)

否定側第一立論(4分)

質疑応答(2分)

準備時間(2分)

肯定側第二立論(4分)

質疑応答(2分)

準備時間(2分)

否定側第二立論(4分)

質疑応答(2分)

準備時間(2分)

否定側反駁(4分)

準備時間(2分)

肯定側反駁(4分)

合計 42分

	肯定側 第一立論	否定側 第一立論	肯定側 第二立論	否定側 第二立論	否定側 反駁	肯定側 反駁
AD	①	②	①	②	②	①
DA		①	②	①	①	②

命題：企業はグローバル・コンパクトに加盟すべきである

Argument (議論) についての基本的な考え方

- ① 重要性 (Impact)
- ② 関連性・因果関係 (Linkage)
- ③ 唯一性 (Uniqueness)

命題：国際紛争をなくすために、国際司法裁判所に強制管轄権を与えるべきである

Uniqueness：「国際司法裁判所に強制管轄権を与えること」は国際紛争をなくすための唯一の方法なのか？（ほかに方法はないのか？）

Linkage：強制管轄権が国際紛争の除去につながるのか？

- ① 国際司法裁判所に強制管轄権を与えられるのか？（実行可能性）
- ② 強制管轄権は紛争の除去として機能するのか（実効可能性）

Impact：国際司法裁判所をつくることによってどの程度の紛争がなくなるのか？

ディベート・技術

- キック・アンド・ゴー (Kick and Go)
- ターン・アラウンド (Turn around)

Link turn 国際司法裁判所が寧ろ紛争を増やす

Impact turn 紛争が減ることで寧ろ内政が不安定になる

■ (最低限の) プレゼンテーション技術

1. CCF (Conclusion Comes First)

結論を先に述べ、次に理由などを述べる

×日本政府は税金を確保するために、社会保障費の削減を行うだろう。

○日本政府は社会保障費の削減を行なうだろう。なぜなら政府は税金を確保する必要があるからだ。

2. NLC (Numbering, Labelling, Claiming)

議論の内容を整理して伝える。第一に～、第二に～、第三に～

Numbering：主張内容の数を述べる

Labelling：それぞれに簡単な表題をつける

Claiming：個別内容を順番に述べる

○ここでの私の主張は三点あります。第一は○○について、第二は□□について、第三は△△についてです。第一に・・・、第二に・・・、第三に・・・

3. AREA (Assertion, Reasoning, Example, Assertion)

Assertion 自分の主張

Reasoning その理由

Example 具体例

Assertion (もう一度) 自分の主張

4. AREA②—反論する場合

Argument of opponents 相手の議論の要約

Refutation 反論

Evidence その根拠

Assertion 自分の主張

■ (最低限の) 討論技術 (Discussion にも応用可能)

発言の種類

Question (質問)

Confirmation (確認)

Suggestion (提案)

Objection (反論)

Motion (その他)

必要なQ

不必要なQ

必要になる可能性のあるQ

発言内容のC

状態のC

$Q \Rightarrow C \Rightarrow S$